

エルサルバドル経済投資

Bandesal (エルサルバドル開発銀行) 主催の輸出促進というセミナーに参加し以下、話を聞きました。

BANDESAL概要:

政府の6つの経済目標の内の一つが輸出促進(2006年8月に国家戦略として認定)。そのために必要な投資ファイナンスを次の通り規定している。
ファイナンス対象プロジェクト: 4.2-21百万ドルのプロジェクトでファイナンス対象金額はその50%。
従来の分野別では、電力関係29%、工業26%、サービス19%、農業8%。
ファイナンス残高: 直接融資、81百万ドル、658件。 間接融資、388百万ドル。
債権保全策としての担保請求などの条件説明はなし。

FDE (Fondo Desarrollo)の貸し出し条件:

ファイナンス期間: 土地12年、機械設備8年、工場用車両5年、運転資金1年。
ファイナンス対象金額: Max 2, 750千ドル、最低金利7.5% p.a。

William Pleites氏の特別講演

William Pleites, Executive Director, FOMILENIO II. エコノミスト
(FOMILENIO IIとは: 2004年に米国政府により設置された Millennium Challenge Corporation-MCCによる経済協力プログラム。エルサルバドルは2006年に初めてFOMILENIOが認定され461百万ドルの供与、2014年に2回目の277百万ドルが供与され政府資金と併せて365百万ドルを5年間に渡って気候変動、人権保護、物流インフラへの投資に使用される。Pleites氏はこの2回目のFOMILENIO IIのトップを務める。

輸出促進:

1990年初頭に経済改革の一環として輸出促進が提唱され、2006年8月に輸出促進が国家戦略となり2016年時点での輸出目標額を120億ドルと設定した。 実際は2016年は60億ドルと半分のレベルに留まった。一方、輸入が増加し貿易収支は常にマイナスを計上、GDP比17%に上る。

輸出製品の構成は次のように変化している。単位は対GDP比。

| | 1990年 | 2016年 |
|-------|-------|-------|
| 伝統産品 | 6% | 1% |
| 非伝統産品 | 6% | 15% |
| マキラ | 12% | 4% |

自由貿易協定締結国: 中米諸国、パナマ、ドミニカ共和国、米国、EU、メキシコ、コロンビア、チリ、台湾。
自由貿易協定交渉国: 韓国、ペルー、カナダ。

自由貿易協定締結による変化:
対メキシコ、コロンビアには大幅な貿易収支赤字を計上。 パナマとは貿易収支黒字に転換。
ドミニカ共和国とは2001年から出超、貿易収支は黒字。

経済成長率:

| | |
|----------|-------|
| 2015-16年 | 2.30% |
| 2010-14年 | 1.80% |
| 2005-09年 | 1.90% |
| 1995-99年 | 3.90% |
| 1990-94年 | 6.10% |

GDP成長率は停滞気味。

国内投資(対GDP比):

| | |
|------|--------|
| 民間投資 | 11.60% |
| 公共投資 | 2.20% |

民間投資は1990年の対GDP比13.5%から大きな変化無し。
公共投資は、1990年の3.8%から徐々に減少。

輸出促進を行うための心構え:

- ・関係者に共有された長期ビジョンを持つこと。
- ・戦略と数値目標を優先すること。
- ・成長に必要な実務的な方針を促進すること。
- ・国家、会社経営者、従業員との間の良い関係を促進すること。
- ・成長のために資金源を確保すること。
- ・人材育成に努めること。
- ・インフラ整備、ビジネス環境の改善、ニッチ市場の利用。
- ・男女平等、女性の地位確保。